



2015. 5. 2

館長の『フクちゃん』です

平成23年度 NHK 選定・放映

「日本の里山 100選の地」

飯高 地域まるごと体験博物館

地域社会の人びとの生活とそこの自然および社会環境の発展を史的に探求し、自然および文化遺産を現地に置いて保存し育成し展示することを通して当該地域の発展に寄与することを目的とする新しいタイプの野外博物館です。



黄門桜 (2009. 4. 11)



日本最古の大学跡 『飯高檀林：講堂(重要文化財)』 (2004. 9. 12)



飯高檀林：境内 (2004. 9. 11)



飯高檀林：鼓楼(重要文化財) (2006. 11. 26)



2013. 11. 16

タイのスーパースターが来た！



『安久山の大イチョウ』 (2009. 11. 29)



『安久山の大シイの木』 千葉県下最大(幹回り10メートル)、推定樹齢1000年 (2005. 4. 3)

里地里山文化と巨樹

身近な自然が体験できる里地里山で、猛禽類を頂点とする多くの生き物が生息しています。また県下最大の『安久山の大シイ木』をはじめ匝瑳市でも屈指の巨樹を観ることができ、春は桜・つつじなど花めぐりが楽しめます。

里山とは、薪炭林あるいは農用林・採草地のことであり、これに水田や畑などの農耕地さらに社寺林や屋敷林などを加えた田園の景観全体を里地ということが多そうです。いずれにしても里山は長い人間との関わりの中で維持されてきた半自然の環境であるが、多種多様な野生生物の温床となってきました。田園の風景やそこで見られる野生生物は、都市住民の心を癒してくれます。画を描く、詩を読む、散歩する、野生生物を観察する、などレクリエーションが手軽に楽しめる自然が身近にあることは、人間の精神的な健全さを保つうえで重要な要素です。また、身近な自然は、子供の環境教育や情操教育の場としても利用できます。日本文化は里山の中で育まれてきました、その連続性を保つという観点からも、里山のような身近な自然を後世に継ぐことは価値のあることなのです。



フクロウのフクちゃん(2008.5.5)



4月下旬頃が見ごろのキリシマツツジ(2008.4.26)



フローラルコンサート(2012.5.5)



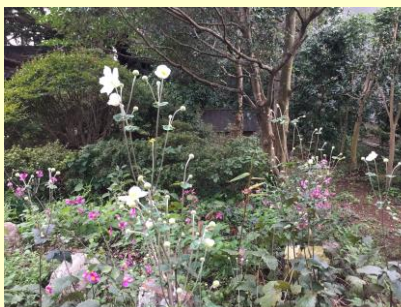
オカメ桜(2008.03.23)



『安久山の大シイの木』県下最大(幹回り1000cm)、推定樹齢1000年(2012.7.15)



ドウダンツツジの紅葉(2016.11.26)



シュウメイギク他(2016.10.10)



NHK選定『日本の里山100選の地』の案内(2012.9.29)

飯高地域まるごと体験博物館：ビジターセンター

匝瑳市観光協会事務局
0479-73-0089

千葉県匝瑳市安久山197
(案内) 館長代行: 平山喜人 090-5311-6799



里山の田園(2005.8.27)



里山とクマガイソウを撮影する今森光彦さん(2011.4.24)



2011年、『NHK BSプレミアム：映像に残したい日本の里山100』に選ばれました。2011年4月に里山写真家の今森光彦さんが訪れ、『今森さんが推薦の里山』で全国に放映されました。